

# 08 カルタを デザインする

日時：平成27年9月17日（木） 10:00～12:00

場所：泉南市埋蔵文化財センター 参加人数：9名

## ■用途を考えてからデザインする

これまでの作業で、カルタに必要なものは完成しています。市内の各小学校にお願いしていた読み札の句はできあがり、絵札の絵もほぼ完成。読み札の裏側に掲載するための説明書きも出そろっています。

あとは、それらをカルタにするために、どんな感じで使うのかを考えるだけでもいいのですが…せっかくなので、ちょっと考えてみることにしました。

①カルタをだれに使用してもらいたいのか？②それならどんな工夫が必要か？③そのためにどんなデザ

インにする必要があるのか？です。

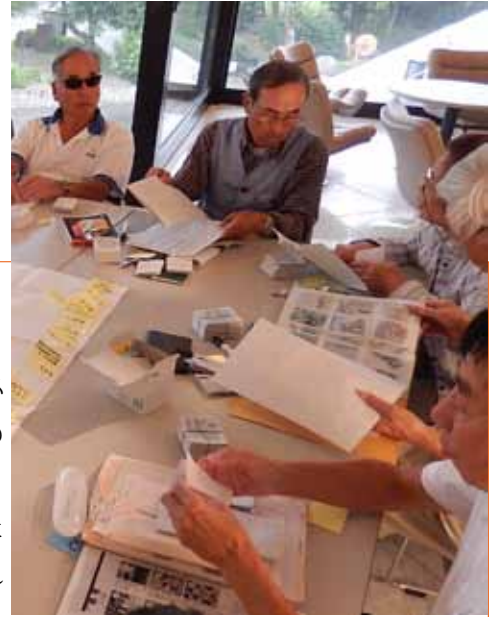
できあがったカルタがどれだけ使ってもらえるかがかかっている

ので、いまのうちに皆さんの工夫を盛り込みたいからです。また、絵札の裏側が白紙になっているので、活用できないかを、併せて考えてみました。

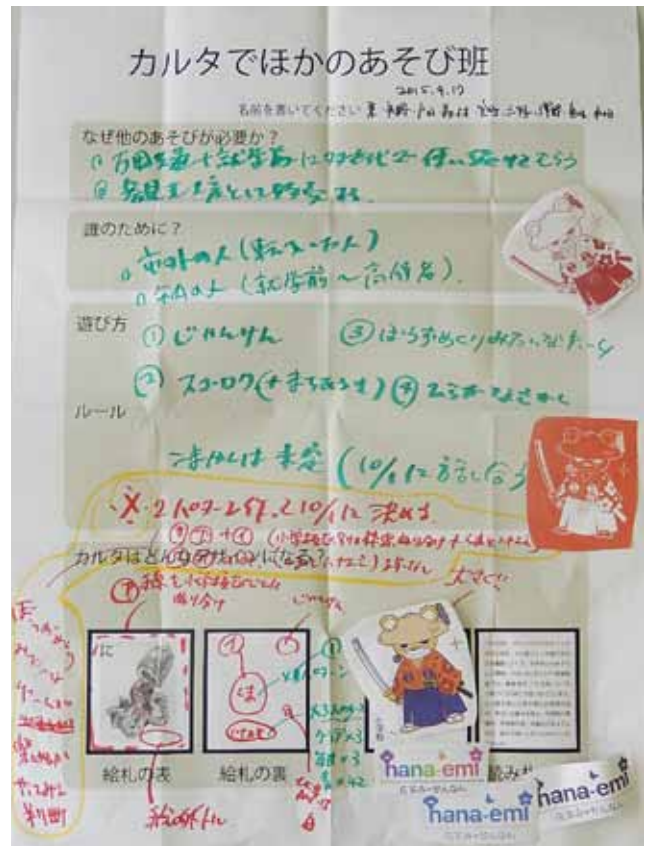
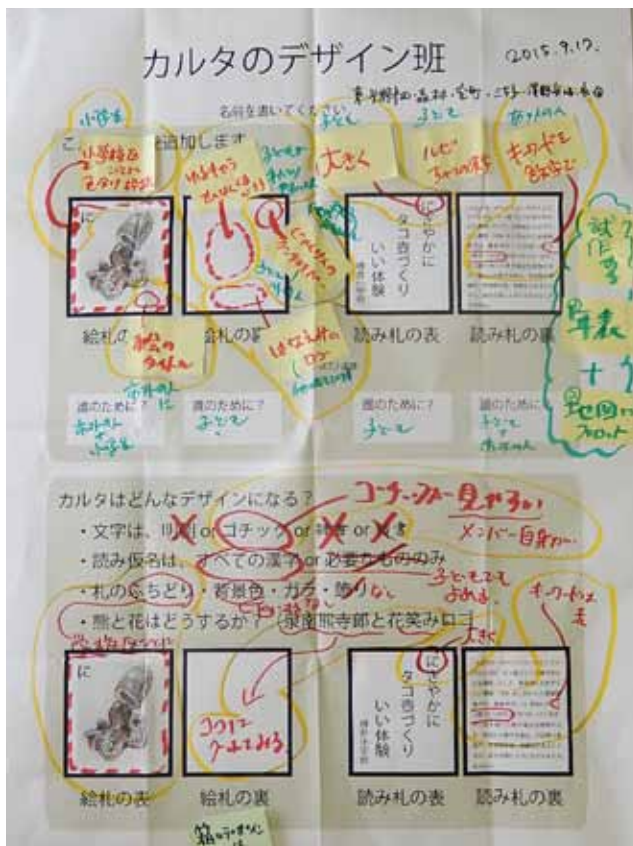
## ■だれに、どうやって遊んでほしい

せっかく作るカルタなので、たくさんの人に末長く使ってほしいもの。なのでカルタとして使えるだけでなく、より多くの人に、カルタ以外の方法でも遊んでもらえる方法を考えることにしました。

幼稚園児から高齢者まで、親子や兄弟、同世代や仲よしグループで、坊主めぐりみたいなゲーム、じゃんけん、ひらがな探し、すごろくみたいなゲームなど、アイデアが出たのですが…それをどうやって実現するのか、考えてみました。



対象を設定して、それぞれが使う工夫を整理して考えてみたのですが…



仕上がりを想像しても、イメージしにくいので、2パターン作って使ってみて判断することにしました

### ■手に取ってもらうための工夫

「まあすてき！」と手に取ってもらわないと話にならないので…絵札の裏の空白部分に泉南市のゆるキャラ「泉南熊寺郎」のイラストを入れることに。幼稚園児でも「これなら手に取ってくれるのでは？」とのアイデアです。

### ■わかりやすくするための工夫

幼稚園児から高齢者、市内の人も、市外の人もわかるものにしたい!となったのでたいへんです。内容を知ってもらうための工夫として以下のアイデアができました。

- ①すべての漢字に振り仮名をつける。
- ②高齢者でも見やすいように字体はゴシック。
- ③年表と、地図を試作してみる。
- ④各札のキーワードを赤文字にする。
- ⑤絵札にタイトルをすべてつける。

### ■ひとりでも多くに、使い続けてもらう工夫

カルタとしてしか使えないのであれば…長い目で

見ると、あまり使ってもらえないのかもしれませんが。事務局としては、今回作成するカルタは、より多くの人に使ってもらう工夫が必要だと考えています。というのも一番大切なのは、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」について知ってもらうこと。

幼稚園児でも、高齢者でも、市民でも、市民以外でも、子ども同士でも親子でも、いろんな遊び方ができるようにしていれば、それだけ使ってもらえる(泉南市の魅力を知ってもらえる)ことにつながるからです。

そこで出たアイデアは4つ。①じゃんけん、②すごろく、③坊主めくりみたいなゲーム、④ひらがなさがし。

次にそのために必要なデザインの要素は何?と意見を出したのですが…うまくまとまりませんでした。ひとまず、2パターン作って次回に、実際に遊びながら、検討し決定することにしました。

一緒にカルタづくりをしてみたい方、大歓迎です

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで TEL:072-483-6789

メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp

【次回のお知らせ】日時: 10/1(木)10時~12時 場所: 埋蔵文化財センター  
内容: 試作品で遊んでみる (思った通りに遊べるのか? 思った通りの仕上がりか? 最終チェックです)